

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まはろ			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 5月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 5月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性、性格に合わせた環境作りに尽力できている点。	自習室や更衣スペースなどを有効的に利用し、音や視覚を遮断したり、クールダウンのための場として活用したりしている。	利用者の実態に合わせた環境づくりに取り組むとともに、よりよい環境づくりができるよう日々アセスメントを深め、職員同士で情報共有や意見交換を行うようにする。
2	支援に対する共通理解を深めるための始業ミーティングに力をいれている点。	毎日の始業前に情報共有の場としてミーティングの場を設けている。当日利用する利用者の近況や状態、支援の注意点や、ヒヤリハット等の情報の共有を行い、よりよい支援が提供できるよう努めている。	引き続き始業ミーティングの場を必ず設け、支援に関わるすべての職員が意見交換ができる場であるように努める。 パート従業員が多く、また終業時刻もまちまちなため、始業ミーティングで有意義な情報・意見交換が行えるように内容の充実に尽力する。
3	立地条件を生かし、買い物体験や公共施設へのお散歩などの戸外活動を行えている点。	児童館や図書館等の公共施設やスーパー、飲食店が近隣にあるため、自立に向けた買い物体験や公共のルールを学ぶ活動を取り入れている。	公共施設のみならず、地域の巡回バスや電車などの公共交通機関などの体験ができる機会も増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パート職員の各種マニュアル、BCP、安全計画やガイドラインの周知が薄い点。	採用時、研修・訓練時での読み合わせのみになっているため、職員に深く内容が浸透してないように思われる。	必要があれば読み合わせの機会をもうけたり、いつでも再確認ができるよう事務所内の分かりやすい場所に掲示するよう改善する。
2	保護者の方への各種マニュアル、BCP、安全計画の周知が薄い点。	契約時での口頭説明、都度書面配布と口頭説明において周知を図っているが、それきりになってしまっていることが多い。	事業所入口の分かりやすい場所に掲示する、またはHP等に掲載し、保護者の方がいつでも確認できる状態にできるよう改善する。
3	定期的なおたよりの発行など、事業所内での利用者の様子や情報等の発信の取りくみが薄い点。	利用者の日々の様子や情報の発信が、連絡帳や送迎時の口頭伝達のみになっているため。	定期的な通信の発行により改善する。